

自動車・プレス関連部会
道内視察会（稚内市）

日時 平成23年8月2日（火）・3日（水）

参加者 19名（事務局2名含む）

視察場所 稚内市

- 内容
- ①稚内メガソーラー（太陽光発電）
 - ・NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託事業で、管理・運営は地元の㈱桜井電業所が行っている。
 - ・大規模太陽光発電システムの構築～出力変動の影響を縮小
 - ・太陽を追いかける「一軸可動架台」 雪対策も必要
 - ②燃料電池
 - ・「稚内新エネルギー研究会」が運営
 - ・水素を使った発電装置～水を分解し、水素と酸素を製造、水素は「水素貯蔵合金タンク」に貯蔵
 - ③雪冷熱乾燥設備
 - ・冬期の外気により水を凍らせ、春から秋まで貯蔵庫内の温度を一定に保つ（プラス3度）ための雪氷冷熱エネルギー利用システムの開発
 - ・地元の山本建設㈱と北大農学研究院の共同研究
 - ・野菜・タラバガニ・毛ガニ等の貯蔵、花卉類の開花時期調整、生ハム製造等の試験
 - ④宗谷岬ウインドファーム（風力発電）
 - ・㈱ユーラスエナジー宗谷が運営。親会社は東京電力㈱と豊田通商㈱が出資
 - ・1,000kwの風力発電機57基、発電容量57,000kwで国内最大級の発電施設～稚内市の電力の7割を賄う
 - ・風の吹く方向に360度向きを変えることができる。
 - ・風力発電はエネルギーの40%を電気エネルギーに変換可能と効率良い

その他 2日（水）18：00より市内の「車屋・源氏」において懇親会、その後「スナック 花りん」で二次会を開催。
小平町の「旧花田家番屋」、稚内市の「ノシャップ岬」、「宗谷岬」、「稚内副港市場」等を視察。



自動車プレス関連部会 稚内視察旅行 稚内メガソーラー 平成23年8月2～3日

稚内メガソーラー（太陽光発電）



自動車プレス関連部会 稚内視察旅行 宗谷岬ウインドファーム 平成23年8月3日

宗谷岬ウインドファーム（風力発電）

以上